

スクラム

～立志・挑戦・感動～

浮羽中学校学校通信

第27号(10月7日発行)

文責 校長 高倉 満

中体連新人大会を終えて～さらなる努力の継続を～

さる10月5日(土)に中体連うきは・三井・小郡新人大会が開かれました。3年生からチームを引き継ぎ、一生懸命に練習に取り組んできました。生徒は各競技で精一杯がんばりました。試合の結果(団体のみ)は以下の通りです。また地区新人陸上大会では中村優太君、高浪咲響君が県大会出場を決めました。おめでとうございます。

(団体のみ掲載) ☆ソフト部が11月2日(土)地区大会に出場します。

競技名	試合結果	競技名	試合結果
ソフトボール	優勝(地区出場)	卓球男子	決勝トーナメント惜敗ベスト4
サッカー	予選惜敗	卓球女子	予選惜敗
ソフトテニス男子	予選惜敗	柔道男子	団体2位
剣道女子	予選惜敗	剣道矢野雅人君、佐々木梨花さん個人3位	
バスケット男子	予選惜敗	☆県大会出場(陸上部)	
バスケット女子	予選惜敗	中村優太君3000m 地区大会1位	
バレー女子	予選惜敗	高浪咲響君200m 地区大会4位	
野球	2位	県大会出場です!	

試合の結果については、満足している人、満足していない人などいろいろな感想を持っていると思います。今、皆さんにしてほしいことは、3年生の先輩が引退した後、夏休みを通してこれまで自分自身が部活動にどんな思いで、どれだけ頑張ったかを真剣に振り返らせることです。先輩の引退以降、これまでの頑張りが不足しているのに試合結果だけに一喜一憂しても何の反省点も出てきません。大切な反省の視点として①自分自身の練習に対する反省、②チームとしての連帯感③みんなで切磋琢磨してきた姿勢や厳しさ④顧問の先生との信頼感、⑤支えてくれる家族への感謝等があります。以上の5つの点について、自分自身で振り返ってしっかり反省して欲しいと思います。そして改善点を見だし、来年の夏の大会を目指して今日からチームの仲間と頑張りたいと思います。

文化祭スローガン「笑～みんなでIt's 笑 time～」

□設定理由・・・今の浮羽中はこれまでの行事を通して、クラス、学年、学校の雰囲気良くなってきています。しかし、「きつい」「だるい」「したくない」といったマイナスの気持ちで行事に参加している人がいるように思います。そういう人たちが楽しく文化祭に参加できるようクラスの中で呼びかけ、声かけ、心がけをしてみんなの心を一つにしてほしいと思います。また、「It's 笑 time」にはこれまでお世話になった方々に、今年一番の笑顔を見せる場という意味が込められています。みんなで文化祭の取組に熱中し、夢中になり、一人一人の個性を発揮し、みんなが最高の笑顔で終われるようにしたい。

◇文化祭に向けてスローガンも決まり合唱練習にも熱が入ってきました。音楽の授業やクラスでの合唱練習、さらに学年での合唱練習と、みんなの歌声が校舎中に響いて嬉しくなります。各クラスの合唱目標も決まっていると思います。その目標に向けて、みんなで挑戦をし、みんなで感動をあげよう、そんな素晴らしい合唱を創り上げてください。

～感動を友とつなぐ合唱コンクールに～

「一生懸命なふり」ではなく「一生懸命にすること」そして、上手い下手に関係なく「本気であること」そこに本当の満足感がある。

合唱を通して「感動をつなぐ」には人が見ていない時でも、人とは違った努力を積むことが必要です。文化祭で合唱を発表する姿で、それを感じさせることができれば最高です。

毎日、練習が続く中、一生懸命に取り組んでも、あまり変わらず、先が見えないこともあるかもしれません。しかし、到達地点が見えなくても、その先にあるものを求めて、ひたすら練習をしましょう。その努力があるからこそ、聴く人に大きな感動が伝わると思います。聴いている人たちの時間が一瞬止まるような、心地よい緊張感を会場に伝えましょう。そんな合唱にしてください。残り5日間、当日に素晴らしいハーモニーが体育館いっぱい響き渡ることを期待しています。「先生は、ステージには立たないが、生徒と一緒に歌っている」先生とのつながりも歌声にのせていこう。